

## 精密工学科 S37 年 (1962 年) 卒業生同期会開催報告

幹事 喜多秀紀、阪井清美、西山昭夫

日時：平成29年11月30日(木)～12月1日(金)

場所：広島平和記念公園&宮島

参加者：写真後列左から 鷺森 功、山口喜弘、都司輝男、太田一忠、田村坦之、  
前列左から 西山昭夫、喜多秀紀、鈴木雄三、高岡龍太、小田和男、阪井清美(11名)



昭和37年卒同期会は二年ごとに一泊旅行を行っており、これまで観光とゴルフを恒例としていたのですが、今回はゴルフなしの企画となり広島在住の喜多秀紀さんの案内で平和公園と宮島を訪れました。

新幹線を降りた一行はまず「広島風お好み焼き」を賞味し、路面電車に乗って平和公園へと移動し、原爆資料館の見学やボランティアガイドさんとの公園内散策など、平和の尊さを再認識する機会とし、再び路面電車で宮島口にある宿へと向かいました。路面電車のある街というのは親しみが持てて良いものですね。

さて、宿の宴会と2次会は物故者への黙禱に始まり皆の近況報告に移ります。60代では仕事と趣味の話、これが後期高齢者となれば健康と病気の話から、延命治療拒否と尊厳死、そして製造業のデータ改ざん問題から日本人の本音と建て前の文化論へと進化発展(?)しました。

翌日の宮島は絶好の天気恵まれ、ロープウェイで獅子岩展望台へ、さらに30分弱のハイキングで弥山山頂へ到着です。弥山はNHKの「ぶらたもり」で少し知識があった程度で、参加者のほとんどが初体験で、今回の旅行のハイライトとなりました。山上では瀬戸内海の景色を満喫し、下山していただ

いた喜多さん推奨の「穴子めし」は格別な味でした。

巖島神社でもガイドさんの案内で神域を巡り、意外に知らないことも教えられ、最後は大鳥居にタッチしてパワーをいただきました。満潮時の神殿は海上に浮かんだごとく素晴らしい光景ですが、干潮時は神社の様々なものが姿を現し、これまた良い勉強になりました。

参加者一同、心豊かに歳を重ねお互い刺激しあって、親睦を深めることができました。それにしても皆の元気なこと！病気を克服したことを楽しく語り、弥山への急な石段をサッサと登って、喜多さん立案の綿密な計画を支障なく消化したこと、幹事の一人として嬉しくまた感謝して二年後の再会を約して二日間の旅を終えました。（西山 記）